

スピリチュアル物語

52話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「でも、よりもっと相手の立場になろう、少しでも何とかして相手の気持ちを真に理解しよう」と努力して、相手の立場や気持ちも少しでも解り、自分ならこうするのに、とか、何故そうしてくれないんだ、という疑問や怒りが消えたとしても、だからって、関係性が好くなるとも限らないぜ」

「ウィザットが冷めた表情で言う。「それに、頭では理解しても、なんか距離感を感じて悲しい気持ちになるわ。嗚呼、この人は私と同じ様に考えて行動はしないのね、私達って違うのねって」マジリアルが悲しい顔で言う。「そうじゃな。じゃが、その距離感というものがどこから出てくるのかと言えば、相手への

過度な期待じゃ。その期待が大きい程、相手が自分の期待通りの言動をしなかった場合、裏切られた様な気分になり、距離感を感じる訳じゃ」

「結局、期待して、裏切られた様な気分になり、それでも期待してまた裏切られるのが人生っていうことなのかしら。何だか虚しいわ」「或いはもう何も期待せず、人と距離を取って、深く関わらないでいけば傷付かないけど、それも淋しいよな」

「2人がそれぞれに意見を述べる「それならば、相手に過度な期待はせず、自分が望む言動をしてくれたらラッキー!、という前提から始めてはどうじゃろう。そうすれば、相手がしてくれれば、相手に対して感謝

の気持ちも湧く様になるじゃろう。自分と価値観が似ている人は、必然的に自分と似た言動をしてくれるだろうから、感謝の頻度は多くなり、似ていない人がたまに何かしてくれたら、感謝の気持ちは倍増する。してくれないことを嘆くよりも、してくれたことに感謝をするというスタンスを持つことで、幸福感が高まり、それがお互いの距離感を埋めてくれる筈じゃ」



★これまでのお話(1~51話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 2月2日号につづく!